

# 健康推進部長目標

健康推進部長

瀬能 幸則(せのう ゆきのり)



当部の仕事を通して貢献しているSDGsの主なゴール



## 健康推進部の仕事

健康推進部は、地域保健医療や保健衛生、国民健康保険や後期高齢者医療保険に関する事務を所管しています。保健医療課、国民健康保険課、保健センター内の健康管理課、健康づくり支援課の4課で構成され、保健医療計画の推進、国民健康保険等の給付、感染症対策、各種検診、予防接種、精神保健、母子・成人保健に関する事などを主な仕事にしています。

## 健康推進部の令和3年度の目標

所沢市保健医療計画に基づき、市民の健康保持・増進、医療提供体制の充実に取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症への予防策として市民へのワクチン接種を重点的に実施します。さらに「健幸長寿のまち」の実現に向けて、関係機関・団体等と連携しながら保健医療施策を進めるとともに、地域の健康課題を明らかにして、地区担当制による地区活動を軸とした健康増進事業を推進します。また、国民健康保険では、市民の生涯を通じた健康の保持増進を図るため、保健と介護予防の一体的実施事業を進めるとともに、医療費の適正化に取り組むことにより赤字解消を目指し、健全で安定的な制度の運営に努めます。

## 目標達成に向けた重点事業

	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	新型コロナワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症の予防策であるワクチン接種について、市民に対して迅速に、また円滑・安全に実施します。	新型コロナワクチンについて、国の示すスケジュールに従って、集団接種として2箇所の会場で、また、個別接種として73箇所の協力医療機関において、対象者への接種を実施します。	集団接種及び協力医療機関における個別接種により、12歳以上の方のワクチン接種については、2回の接種を終了した方の年度末の接種率は87.6%となっており、当初の目標であった7割の接種を大幅に上回りました。

2	保健事業と介護予防の一体的実施事業	市民の状況やニーズを把握し、生涯を通じた健康の保持増進を図るため、保健事業と介護予防を一体的に実施する取組を進めます。	高齢者を対象として、ハイリスクアプローチ(個別指導・支援)及びポピュレーションアプローチ(通いの場等への積極的な関与等)を合わせて実施するものです。なお、ハイリスクアプローチについては、令和3年度、400人を対象に実施します。	76歳の方で対象となった方は106名であったことから、この方々に対して延べ179回の訪問を行い、健康状態の確認や相談を受けました。約9割の方が健康でしたが、本人やご家族がフレイル(虚弱)状態の方もいたため、了承を得て、地域包括支援センターに情報提供を行いました。
3	トコトコ健幸マイレージ事業	健康寿命の延伸を図るため、歩くことに主眼を置いた健康増進事業として、健康無関心層の参加を促すよう、ポイント制を導入したマイレージ事業を実施します。	令和2年度から開始した「トコトコ健幸マイレージ事業」について、市民に対して一層の周知を図り、参加者数を11,000人とすることを目指します。	県の新規登録キャンペーンを活用したほか、小学校1年生の保護者にチラシを配布し、新規登録者の獲得に努めました。その結果、年度末の登録者数は、10,752名となりました。
4	地区担当制による地区活動を軸とした健康増進事業の推進	市内各地区の健康課題を把握し、地区の特性に応じた効果的な健康づくりを推進します。	地区診断による地区健康課題に基づく「地区保健活動計画」を策定して保健活動を実施し、地区の特性に応じた効果的な保健活動を行っていきます。	各地区担当が、関係機関とのヒアリング結果を活かし、地区サークル等への働きかけなど地域資源を活用しながら、地区保健活動を行いました。